

学校名 (私立) ^{がっこうほうじんおおがきにほんだいがく} 学校法人大垣日本大学
^{がくえんおおがきにほんだいがくこうとうがっこう} 学園大垣日本大学高等学校

所在地 岐阜県大垣市林町6丁目5番地

電話 0584-81-7323

1. 本校の概要

水と緑の豊かな大垣市の中心に位置し、西濃地区唯一の私立高校として、昭和38年に創立された。「誠実・努力・親和」を学校目標に「地域に愛される学校」として、多くの生徒を迎え、創立42年目を迎える今年の3月までに21,419名の卒業生が巣立った。

また、東海地区唯一の日本大学付属高校として、多くの卒業生が日本大学に進学し、多方面で活躍している。(生徒数870名、学級数28、蔵書冊数25,065冊)

2. 本校の実践の概要

(1) 本校の実践の特色

図書委員の生徒や文芸部の生徒を中心に、本校第2期生の絵本作家・市川里美さんの絵本の読み聞かせを行っている。昨年度は市内の小学校3校を訪問し、非常に好評であった。また、毎週水曜日に行われる朝読書では、自由読書のほかに市川さんの絵本も含めた学級文庫を設け、朝の静かな一時を楽しんでいる。



<静かに朝読書を楽しむ生徒たち>

① 絵本の「読み聞かせ」について

本校の卒業生であり、パリを中心に世界で活躍する絵本作家・市川里美さんの絵本を多くの子どもたちに知ってもらいたいという思いから、1年生の生徒、12名から始まった。

市川さんの3作品、「たからさがし」「アフリカへいったクマ」「お祭りにいけなかったもみの木」を携え、自分たちで鈴やタンバリン、足踏み……といった効果音も交えながら練習を重ねた。昼休みを利用して、市内3校の小学校を訪問し、低学年の児童たちに読み聞かせを行い、新聞にも報道された。

また、「心の教育」の一環として、市が主催する「社会を明るくする運動」において、スライドを用いて「おだんごスープ」の読み聞かせを行った。



<平成15年11月20日付朝日新聞朝刊>

今年度は更に活動の場を広げ、保育園や老人ホームなどを音楽部の生徒とともに合同訪問した。

② 朝読書について

毎週水曜日、8時30～45分までの15分間、自由読書を基本に各クラス30冊の学級文庫を用いて生徒・教員ともに朝読書に取り組んでいる。特に1年生は市川さんの絵本を読み、「ホッとする一時が持てた。」「卒業生と知り誇りに思う。」などの感想を寄せている。

3. 成果と今後の課題

今後も生徒の自主性を基本として、読み聞かせ活動を継続し、先輩から後輩へのよき「伝統」としていきたい。また、朝読書の取組から生涯学習としての読書習慣づくりへとつなげていきたい。